

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3149546号
(U3149546)

(45) 発行日 平成21年4月2日 (2009.4.2)

(24) 登録日 平成21年3月11日 (2009.3.11)

(51) Int.Cl.

F 1

G 0 6 F 3/039 (2006.01)

G 0 6 F 3/039

B 4 2 D 3/18 (2006.01)

B 4 2 D 3/18

Z

評価書の請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号 実願2009-206 (U2009-206)
(22) 出願日 平成21年1月19日 (2009.1.19)(73) 実用新案権者 509016852
田口 明美
東京都港区新橋5-28-7 有限会社ア
ップ・フィールド内
(73) 実用新案権者 509017664
野中 なるみ
千葉県山武郡大網白里町季美の森南2-3
6-2
(74) 代理人 100081558
弁理士 齋藤 晴男
(74) 代理人 100154287
弁理士 齋藤 貴広
(72) 考案者 田口 明美
東京都港区新橋5-28-7 有限会社ア
ップ・フィールド内

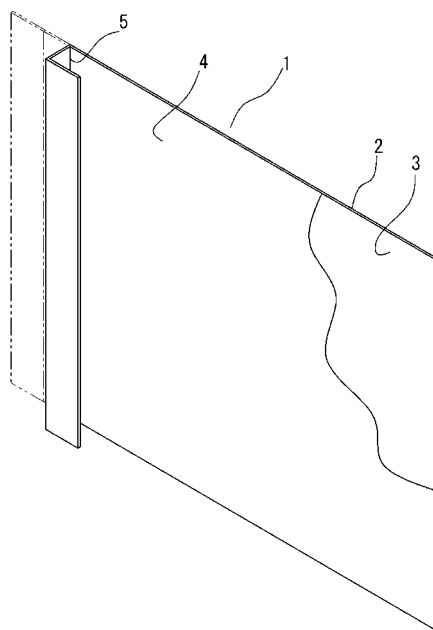
(54) 【考案の名称】 マウスパッドとして利用可能なディスク製品又は本用帯

(57) 【要約】

【課題】 ディスク製品又は本の帯を、その用済み後においてマウスパッドとして活用可能にしたディスク製品又は本用帯を提供することを課題とする。

【解決手段】 CD、DVD等のディスク製品のケースの外側に被装され、あるいは、本の下半部を覆うように巻装される帯1であって、該帯は、マウスパッドとしての使用に適する資材製の基板2で構成され、基板2は、その表面側に当該ディスク製品又は本の内容に関する印刷がなされ、裏面側に易剥離性粘着層3を介して剥離紙4が定着されていて、剥離紙4を剥離した後、前記印刷面を上にしてマウスパッドとして使用可能にしたことを特徴とする。

【選択図】 図2



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

C D、D V D等のディスク製品のケースの外側に被装され、あるいは、本の下半部を覆うように巻装される帯であって、該帯は、マウスパッドとしての使用に適する資材製の基板で構成され、前記基板は、その表面側に当該ディスク製品又は本の内容に関する印刷がなされ、裏面側に易剥離性粘着層を介して剥離紙が定着されていて、前記剥離紙を剥離した後、前記印刷面を上にしてマウスパッドとして使用可能にしたことを特徴とするディスク製品又は本用帯。

【請求項 2】

前記剥離紙には切離線が設けられている、請求項 1 に記載のディスク製品又は本用帯。

10

【請求項 3】

前記帯はディスク用であって、前記ケース表面のほぼ全体を覆い得る大きさである、請求項 1 又は 2 に記載のディスク製品又は本用帯。

【請求項 4】

前記印刷面に広告要素が付加されている、請求項 1 乃至 3 のいずれかに記載のディスク製品又は本用帯。

【請求項 5】

前記基板に、部分的切除のために利用されるミシン目が形成されている、請求項 1 乃至 4 のいずれかに記載のディスク製品又は本用帯。

【請求項 6】

前記ミシン目は、少なくとも背表紙に沿った折曲線上に入れられている、請求項 5 に記載のディスク製品又は本用帯。

20

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本考案は、マウスパッドとして利用可能なディスク製品又は本用帯、より詳細には、C DやD V D等のディスク製品の通例プラスチック製ケースの外側に被装されてシュリンク包装されている帯、あるいは、本の下半部を覆うように巻装されている帯であって、ケースや本から外した後にマウスパッドとして利用することができる、ディスク製品又は本用帯に関するものである。

30

【背景技術】

【0002】

C DやD V D等のディスク製品は一般に、そのプラスチックケースの内側に、当該ディスクの内容を示す文字、写真、図絵等を印刷した内側シートが装入されると共に、そのプラスチックケースのヒンジ部側端部外側の表面から裏面にかかる部分に、当該ディスクの内容のエッセンスを印刷した、通例、紙製の帯が被装され、その状態で全体がシュリンク包装されて販売に供される。また、本についても、その下半部に、その本の内容や推奨文等を印刷した帯が巻装されることが多い。

【0003】

ディスク製品の場合の帯は、シュリンク包装除去後はケースと分離されて扱いにくいものとなり、また、その用は内側シートが果たすために不要のものとなり、そのまま捨てられることが多い。本の帯についても同様であり、その上にカバーをするような場合は別として（この場合帯は意識的にではなく結果的に残る。）、やはり捨てられることが多く、その有効利用を図ることを企図したものは提唱されていない。

40

【先行技術文献】

【特許文献】

【0004】

【特許文献 1】特開 2006-26978 号公報

【特許文献 2】特開平 10-35147 号公報

【特許文献 3】実用新案登録第 3094213 号公報

50

【考案の概要】

【考案が解決しようとする課題】

【0005】

上述したように、従来のディスク製品又は本の帯は、製品開封後本体から分離されるために保存しにくくなり、また、多くの場合、製品の購入に伴ってその用は終わるため、そのまま廃棄されることになる。そこで本考案は、この種帯を、その用済み後においてマウスパッドとして活用可能にしたディスク製品又は本用帯を提供することを課題とする。

【課題を解決するための手段】

【0006】

上記課題を解決するための請求項1に記載の考案は、CD、DVD等のディスク製品のケースの外側に被装され、あるいは、本の下半部を覆うように巻装される帯であって、該帯は、マウスパッドとしての使用に適する資材製の基板で構成され、前記基板は、その表面側に当該ディスク製品又は本の内容に関する印刷がなされ、裏面側に易剥離性粘着層を介して剥離紙が定着されていて、前記剥離紙を剥離した後、前記印刷面を上にしてマウスパッドとして使用可能にしたことを特徴とするディスク製品又は本用帯である。

【0007】

好ましい実施形態においては、前記剥離紙に切離線が設けられ、また、ディスク用帯の場合、その大きさが前記ケース表面のほぼ全体を覆い得る大きさとされ、また、前記印刷面に広告要素が付加され、更に、前記基板に部分的切除の際に利用するミシン目が形成される。

【考案の効果】

【0008】

本考案は上述したとおりであって、本考案に係るディスク製品又は本用帯は、マウスパッドとしての使用に適する資材製の基板で構成され、前記基板は、その表面側に当該製品又は本の内容に関する印刷がなされ、裏面側に易剥離性粘着層を介して剥離紙が定着されて構成されているので、製品開封後等に本体から分離される帯を、剥離紙を剥離して印刷面を上にしてそのままマウスパッドとして有効活用し得る効果がある。

【0009】

特に請求項4に記載の考案においては、印刷面に広告が掲載されているために、マウスパッドとして使用することで広告効果が長期的に持続する効果があり、また、請求項5及び6に記載の考案においては、所望の折曲線から切り離すことで所望のサイズのマウスパッドとすることが容易となる効果がある。

【図面の簡単な説明】

【0010】

【図1】本考案に係るディスク製品用帯の使用状態を示す部分切開斜視図である。

【図2】本考案に係るディスク製品用帯の一実施形態を示す部分切開斜視図である。

【図3】本考案に係るディスク製品用帯の一実施形態の要部を示す斜視図である。

【図4】本考案に係る本用帯の一実施形態を示す斜視図である。

【考案を実施するための形態】

【0011】

以下に、本考案を実施するための形態について、図面に依拠して説明する。本考案に係るディスク製品又は本用帯1は、マウスパッドとしての使用に適する資材製、即ち、表面が印刷可能で適当なアンチスリップ性を有する紙製又は樹脂製の基板2で構成される。図1乃至3に示した例はディスク製品の帯1についてのものであり、図4に示した例は本用帯1についてのものである。基板2は、マウスパッドとして必要な大きさを確保するために、例えば、ケース10の表面のほぼ全域を覆う大きさとされる。

【0012】

基板2の表面には、従来の一般的帯と同様に、当該ディスク製品又は本の内容に関する文字、写真、図絵等が印刷され、場合によっては更に、広告要素としての文字、写真、図絵等が印刷される。また、基板2の裏面には、易剥離性粘着層3を介して剥離紙4が定着

10

20

30

40

50

される。剥離紙 4 には適宜切離線 5 が入れられ、剥離紙 4 の剥離の容易化が図られる。

【0013】

基板 2 には、ディスク製品のケース 10 や本 12 の背表紙に沿う折曲線 6 が入れられる。この折曲線 6 はミシン目とすることが好ましい。そのようにした場合は、マウスパッドとして使用するに当たり、所望の折曲線 6 から切り離して所望のサイズのマウスパッドとすることが容易となる。なお、折曲線 6 をミシン目とするだけでなく、それとは別に、サイズ調整用のミシン目を設けることとしてもよい。

【0014】

本考案に係るディスク製品又は本用帯 1 は上記構成であり、例えば、ディスク製品の場合には、帯 1 は、そのシュリンク包装 11 を破ることによりケース 10 から分離されることになるが、その基板 2 裏面の剥離紙 4 を切離線 5 から剥離除去することで、マウスパッドとすることができる。マウスパッドとして使用する場合は、基板 2 表面の印刷面を上にし、易剥離性粘着層 3 を机上に密着させる。本 12 の帯 1 の場合も同様で、それが不要になった時点で、上記と同様にしてマウスパッドとなして使用することができる。

10

【0015】

基板 2 表面の印刷面に広告要素が付加されている場合は、マウスパッドとして使用する間、その広告効果が持続することになる。また、マウスパッドとして使用する際、基板 2 裏面の易剥離性粘着層 3 が机上に密着して滑りが防止されるので、使い勝手のよいものとなる。

【0016】

20

この考案をある程度詳細にその最も好ましい実施形態について説明してきたが、この考案の精神と範囲に反することなしに広範に異なる実施形態を構成することができることは明白なので、この考案は添付請求の範囲において限定した以外はその特定の実施形態に制約されるものではない。

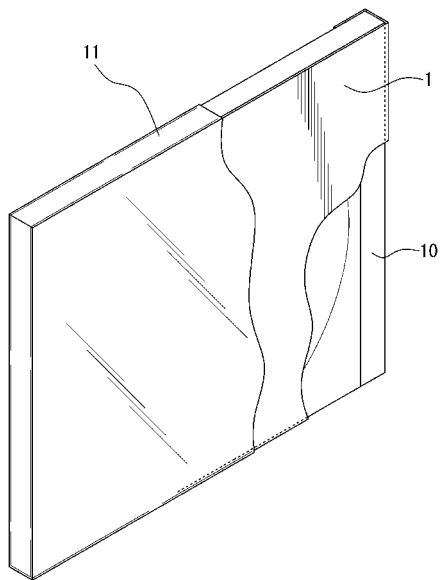
【符号の説明】

【0017】

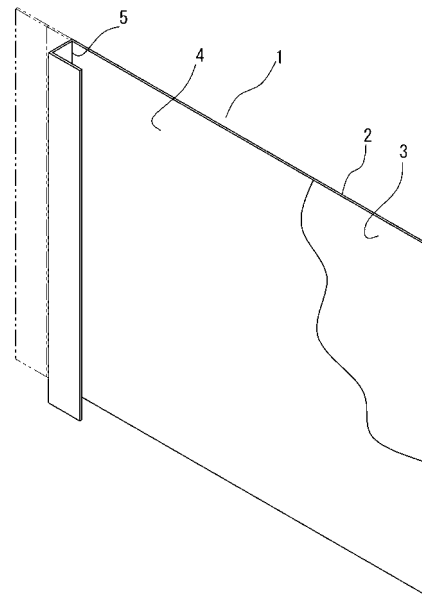
- 1 帯
- 2 基板
- 3 易剥離粘着層
- 4 剥離紙
- 5 切離線
- 6 折曲線
- 10 ケース
- 11 シュリンク包装
- 12 本

30

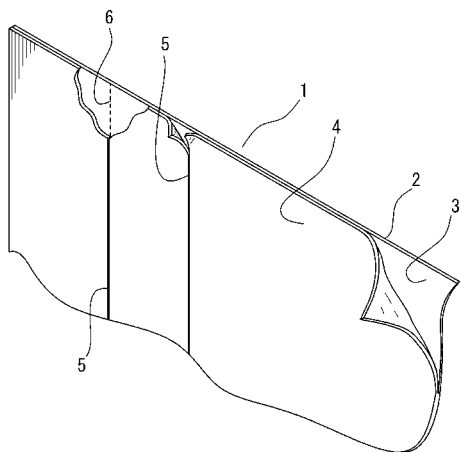
【図 1】



【図 2】



【図 3】



【図 4】

